



## 山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
 URL:http://www.mokusankyo.com  
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- |    |   |  |
|----|---|--|
| 目次 | 1 第 2 回役員会開催される<br>2 木工品コンペの知事賞が決まる!!<br>3 設計業界が高い関心<br>※JAS 関連講演会の開催 | 4 協和木材等への共同納材を開始!!<br>5 お知らせ・会議・イベント等<br>6 8 月期の住宅着工状況 |
|----|---|--|



## 1 第 2 回役員会開催される

9 月 23 日(金)、山形市内のホテルメトロポリタン山形会議室を会場に標記役員会を開催したところ、役員 16 名が出席し、本年度事業の執行状況や今後の取組について意見を交換した。協議の概要は次の通りです。

また、開会に先立ち、先日逝去なされた故相原吉弘理事に対し黙祷を捧げた。

### (1) 業界を取り巻く状況

住宅着工数については、好調だった昨年を上回る伸びがある一方で、現状や今後の感触等について役員各位から地域の状況について報告がなされ、製材、流通関係は 8 月期は中折れしたが 9 月に入り比較的堅調である旨の報告が多かった。しかしながら従来の建築用材の生産減少や役物中心の取引から、特殊材生産への変更や単価の安い製品の流通が多くなっていることもあり、A 材の活用を推進する取り組みの必要性等についても意見が出された。

素材関係は、集成材、バイオマス等の需要が発生し比較的順調等の意見が多かった。

### (2) 組織状況について

現在の組合員数は 158 社、賛助会員 5 社で微増。理事の逝去に伴う欠員に対する対応では、協議の上改選期までに欠員のままの体制で運営を行うことになった。全国木材産業振興大会での功労者表彰では 3 名が受賞することになった(詳細は 12 月号に掲載)木産協職員の山口由美子氏が、定年のため 9 月末を持って退職することになり、この場で退任の挨拶を頂いた。

### (3) 本年度事業の進捗について

昨年度の国庫補正事業である地域材利用拡大緊急対策事業については、10 月末の期限であるが、木工品プロダクトコンペ、体感バスツアー、新聞等を活用した木材産業の紹介、県内外のイベントへの参加、木造建築物の建築促進及び木材等による地域創生研修会の開催、木産協 HP のリニューアル等に目一杯取り組んでおり、計画どおりの進展となっている。

また、素材共同販売事業については、合板・集成材用材及び木質バイオマスの取り扱いが昨年を上回る規模で進展していること。その他、第 2 回林業労働安全大会の成功や、各種融資による施設整備への支援等について報告された。

### (4) 本年度の新たな取組について

本年度の国の補正事業が検討されており、決定となれば、普及啓発関係事業について昨年と同様に取り組むことや、大江町より委託のあった「天然乾燥材」関連の調査事業及び素材の新しい取引先として石巻市の合板・LVL 工場との間での取引も開始することになった。



(追悼する阿部理事長)

## 2 第2回木工品プロダクトコンペを開催!!

9月8日(火)に、山形県産業創造支援センターにおいて、標記プロダクトコンペ審査会が開催され、優秀作品に対し知事賞をはじめとする各賞が決定した。

この取り組みは、県内森林資源の成熟に伴い、住宅、公共施設等への利用が官民挙げて行われているが、身近な生活にも木製品の活用を図る目的で開催されたもので、2月に取り組んだ第1回に引き続き、木産協が国の補助事業を受けて実施したものの。

### (1) 概要

募集期間を4月下旬から8月一杯までの4ヶ月とし、県産木材を活用した木工品を手掛ける県内外の事業体や個人から、64点の応募をいただくことができた。

今回のテーマは、東京オリンピック等に向けての「道の駅」整備等に伴う、県内外・海外からの来県客にアピールできる、県産木材を使った木工品とした。

審査は、1次審査(機能とデザイン、加工技術、量産の可能性等の7基準)及び2次審査(消費者へ訴求力、市場性、独創性の3基準)が行なわれ、次の作品が3賞に決定した。

各 賞	作 品 名	製作者	コンセプト及び特徴 (申込書記載内容の一部掲載)
山形県知事賞	やまがた木's	家具工房モク (山形市)	県内に生育する多種類の木材を使った一輪挿しで、ガラス瓶を外すと写真やポストカードを飾ることも可能な優れもの。
山形県木材産業 協同組合理事長賞	ワインde おもてなし	(株)天童木工 (天童市)	月山をモチーフにしたグラスホルダーとワインボトルホルダー。西山杉の源平の色合いで、紅葉で色づく月山の山肌に初冠雪の景色をイメージした。
山形県木工業 協同組合連合会 理事長賞	森の小鉢	富一材木店 (新庄市)	最上杉を活用し、杉の木目がくっきりと浮かび上がり、とても美しく心が癒される。テーブルの上に置くと森を感じさせる。

全体的に作品レベルが高く、1次審査では評価が分かれ36点が通過した。また2次審査では、完成度の高い16作品が60点台(75点満点)に集中する等、前回同様接戦となったが、最終的に審査委員の協議の下に決定された。

その他、審査員特別賞が12点、展示推薦作品として21点が選考された。

これら作品については、9月末～10月末に県庁、各総合支庁のロビー等で展示される。(但し、各ロビーの展示スペースの大きさ等から、選抜品の展示となるところもある。)

また、事例集は10月中旬に完成予定で、受賞・展示推薦作品は全て掲載される。

### (2) 審査員名簿

役 割	氏名(敬称略)	所 属 等
審査会委員長	酒井 聡	東北芸術工科大学デザイン工学部プロダクトデザイン学科講師
〃 副委員長	阿部 昭	山形県木材産業協同組合理事長
〃 委員	安達喜代美	山形県農林水産部林業振興課長
〃 委員	小林一清	山形県木工業協同組合連合会専務理事
〃 委員	安部雄祐	(株)山形城南木材市場代表取締役(元・全国木青会木工工作部長)
〃 委員	鈴木信夫	(株)もがみ物産協会代表取締役

(3) 知事賞等 3 作品

県知事賞 (やまがた木's)



県木産協理事長賞 (ワイン de おもてなし)

審査状況



県木工連理事長賞 (森の小鉢)



(4) 審査員特別賞 12 点 (作品名・製作者のみ掲載)

作品名	製作者	作品名	製作者
めっちゃかわいい ミニボンボン下駄・千両下駄	(有)清野工房	桐製夢枕	桐工芸 桐井製作所
「KIRIKABU」小椅子(スツール)	家具工房モク	木製スマートフォン・スタンド	(株)イトーキ・(株)JVC ケンウッド
やすら木マウス	福島弘幸	森の箸[MOCO]	(有)ワンツー
六角形お盆	白谷建具店	k i k i k i (積木)[木木木→森]	(株)ワンツー
デスク・ロボ	おもしろ木工・ロボっ木	「カラコロ」	M木工
MOKUKA(木花)	相原木材(株)	「BU-BU」	(株)ニューテックシンセイ

(5) 展示会日程等 (会場スペース等の関係で限定されますのでご了承願います。)

	会 場	期 間	摘 要
1	山形県庁ロビー	9/14~9/20	15 点展示・三賞及び審査委員特別賞
2	最上総合支庁ロビー	9/20~9/23	23 点展示・同
3	村山総合支庁ロビー	9/26~9/29	36 点展示・同
4	イオン山形南(山形市)	9/30 ~10/2	36 点展示・同
5	庄内総合支庁ロビー	10/3~10/7	20 点展示・同
6	置賜総合支庁ロビー	10/7~10/14	36 点展示・同

(6) その他

これら優秀作品が、お土産品や様々な企業等の記念品として扱われる等が増えれば、新商品開発や生産に一層の弾みがつきます。組合員の皆様のご活用も宜しくお願い致します。

### 3 設計業界が高い関心を示した「JAS」関連講演会

9 月 30 日、山形市のホテルキャッスル会議室において、「木造建築と JAS 製材」の演題で、講演会を開催したところ、木産協組合員の他、設計・施工関係業界、関係行政機関等、約 100 名が参加し、活発な質疑等を通して、JAS 製材及び地震などに対する安全・安心な木造建築等に関する理解の共有を図ることができた。

この取り組みは、国の地域材需要拡大緊急対策事業を活用し、木産協組合員の資質向上を目指した、三部構成の研修・講演会の最後の企画であり、特に、国交省等の公共建築物工事仕様書への JAS 製材使用の明記等を受け、関係者の JAS 製材の理解の促進と、熊本地震等の調査で明らかになった木造建築物の耐震性の強化の必要性等について周知を図ったものである。また、県建築住宅課長の櫻井信氏や県建築士会会長の平吹和之氏も参加する等、設計業界・行政機関からも多くの関心を寄せていただいた。

講師は、木造軸組み工法の耐震設計や優良な木造住宅普及の第一人者である、東京都市大学の橋好光教授で、最近熊本地震被害等についても現地調査を行う等、全国的に活躍されている方である。また、氏は(一社)日本木造耐火建築協会の理事等にも就任されており、本県ともご縁の深い方である。講演は 2 部構成で行われ、概要は次のとおり。

#### (1) 木造建築と JAS 製材

自然の素材である木材の強度には「ばらつき」があり、同じヤング率でも強度が 2.5~3 倍違うものもあること。これらを一律に使用すれば、基準強度として、安全を確保するために低い値(5%下限値)で使用せざるを得なく、これは非常にもったいない使い方になること。強いものは強い使い方、弱いものはそれなりの使い方があり、区分して使うのが合理的である。建築業界は、あらゆる部材・材料について、性能基準の明らかなものを使う方向に向かっている。コンクリートは「4 週強度の検査方法」や「JIS 工場」の制度を作って、信頼を獲得してきた。木質材料も、合板、集成材、LVL、OSB 等のエンジニアードウッドが開発され、これらは JAS 製品として精度等の品質の安定性を持ったことから、大量に使われだしている。JAS 製材は約 20%しか流通していないと言われているが、中大規模木造や公共建築物の構造材が、品質が良く判らないということは許されない。先進国の中で日本だけが、品質保証の無い製材で公共建築物の建築が可能となっているのは問題である。国産材の復権や新しい需要を開拓するには、きちんと JAS 製材を流通させる必要がある。

一方、JAS 製材にも無等級材などの解釈が歪められている問題や工場認定方法等に課題があることから、適切な変更を行い、生産普及体制の整備と利用を拡大していく必要がある。

#### (2) 現代木造住宅の構造性能

阪神淡路大震災から熊本地震に至る木造住宅の被害で、多くの調査が行われ又実大試験(振動台試験)を行うことが可能となったことから、様々な耐震のデータが得られ、これを基にした建築基準法改正、品格法の制定、「許容応力度計算」の改訂を経て、現代の木造住宅の性能は格段に向上している。詳細は省くが、木造住宅の「耐震性能をさらに高める」には、合板耐力壁の釘間隔を半分にすることで、耐力は倍近く伸ばすことができる。このように、木造住宅は比較的簡単に対応することが可能であり、積雪時の地震被害予防等も可能である。※これらの一連の研修・講演会には、300 名を超える方が参加し、木材(JAS 製材)や木造建築等に関する認識の共有が図られた。今後、単独業界ではなく、関係業界の力を結集し、大きな力となって、木材利用や木造建築物の建築促進を推進する基盤が作られ始めてきているものと感じている。



## 4 協和木材への共同納材を開始 !!

9 月 1 日から協和木材への共同出荷が開始され、木産協組合員は原木を満載した輸送トラックに「木産協」の上り旗を靡かせ、県内各地から集合した。この日は約 500M3 を搬入した。



協和木材新庄工場に集結した、素材生産組合員のトラック群

## 5 お知らせ、会議・イベント等

- |  |
|--|
| <p>○ お知らせ 酒田飽海支部の池田木材は、「池田木材㈱」に変更されましたので、組合員名簿をご訂正願います。新所在等は次のとおりです。HP は変更してあります。</p> <p>事務所の変更 〒999-2815 酒田市大蔵二タ子 187-3</p> <p>Tel・FAX の変更 Tel 0234-64-1670 ・FAX 0234-64-1670</p>   |
| <p>(1) 東北ブロック JAS 検査員研修会の開催</p> <p>東北地区の検査員の検査水準の維持や関連情報の伝達等を目的にした標記研修会が、6 年ぶりに本県で開催される。</p> <p>ア 日時：10 月 4 日(火)13 時～5 日(水) 12 時頃</p> <p>イ 会場：山形市のホテルキャッスル及び市内 JAS 認定工場</p> <p>ウ 参加者：全木検研担当者も含め東北各県より 25 名参加予定</p>   |
| <p>(2) 森林資源循環利用促進事業打合せ会</p> <p>みどり環境税を活用した、間伐材の搬出に関する支援事業について、変更点等について説明会を開催する。県担当者も出席の予定。関係事業体に別途ご案内致します。</p> <p>ア 日時：10 月中旬 イ 森林会館 (予定)</p>  |
| <p>(3) 全木連・全木協連臨時総会、情報交換会の開催</p> <p>全木連等の理事選任及び平成 29 年度予算概算要求及び地域動向等について標記臨時総会や情報交換会が開催され、理事長代理で専務理事が出席する。</p> <p>ア 日時：10 月 19 日(水)13 時半～ 会場 木材会館 7 階ホール(東京都新木場)</p>   |
| <p>(4) 第 26 回山形県林業まつりの開催</p> <p>森林・林業・木材産業の振興発展及び県民の皆様の皆様の認識の向上を目指した標記林業まつりが、今年も盛大に開催される。今年従来「食彩まつり」の他、全国技能オリンピックが同日・隣接地での開催となることから全国からの集客も見込める。展示出展及び各種体験等の企画や運営について、宜しくご協力下さいます様お願いいたします。また、多くの地域組合や企業から協賛広告も頂いており、重ねて御礼申し上げます。概要は同封の「まつり PR チラシ」をご覧ください。</p> <p>日時：10 月 22 日 (土) 12 時～16 時、23 日 (日) 9 時～15 時</p> <p>会場：山形県総合運動公園特設駐車場 (混雑回避の為、東側に回りお入り願います)</p> <p>※林材業年次大会はステージを使い 11 時に開始です。この時間には是非ステージ周辺にお集まり下さい。</p> |

## 6 8 月期の住宅着工状況

8 月期は前年と比べ落ち込みの割合が 20 ポイント程度と大きく一服感が強いようだ。それでも累計では木造住宅は昨年度を上回っている。その後 9 月に入り荷動きも活発化している話もあり秋需への期待感が強い。

### 1 県内新設住宅着工戸数(平成 28 年 8 月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23 年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24 年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25 年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26 年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27 年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
8 月	500	276	195	1	28	486	14	444	88.8%	267	8	169
27.1~8	3,492	2,135	959	10	388	3,453	39	3,008	86.1%	2,081	87	840
9 月	542	267	223	1	51	532	10	437	80.6%	279	11	147
10 月	417	238	133	2	44	409	8	367	88.0%	247	9	111
11 月	515	270	180	0	65	510	5	437	84.9%	280	15	142
12 月	437	166	226	2	43	434	3	326	74.6%	251	8	67
28.1 月	331	135	132	1	63	330	1	280	84.6%	169	7	104
2 月	274	171	59	0	44	270	4	249	90.9%	155	4	90
3 月	388	206	135	0	47	385	3	330	85.1%	214	7	109
4 月	447	309	87	4	47	443	4	419	93.7%	310	16	93
5 月	423	291	66	2	64	418	5	386	91.3%	297	5	84
6 月	541	325	165	0	51	527	14	456	84.3%	354	13	89
7 月	648	348	215	1	84	637	11	548	84.6%	382	16	150
8 月	491	288	171	2	30	472	19	430	87.6%	272	11	147
対前月	75.8%	82.8%	79.5%	200.0%	35.7%	74.1%	172.7%	78.5%	-	71.2%	68.8%	98.0%
対前年同月	98.2%	104.3%	87.7%	200.0%	107.1%	97.1%	135.7%	96.8%	-	101.9%	137.5%	87.0%
27.1~当月計	3,492	2,135	959	10	388	3,453	39	3,008	86.1%	2,081	87	840
28.1~当月計	3,543	2,073	1,030	10	430	3,482	61	3,098	87.4%	2,153	79	866
対累計前年	101.5%	97.1%	107.4%	100.0%	110.8%	100.8%	156.4%	103.0%	-	103.5%	90.8%	103.1%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(平成 28 年 8 月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
<b>県計</b>	<b>491</b>	<b>3,543</b>	<b>98.2%</b>	<b>101.5%</b>	<b>3,098</b>
山形市	119	896	135.2%	99.9%	710
上山市	10	63	50.0%	75.9%	57
天童市	24	256	82.8%	102.4%	244
山辺町	13	64	325.0%	136.2%	55
中山町	3	39	20.0%	90.7%	29
東南村山	<b>169</b>	<b>1,318</b>	<b>108.3%</b>	<b>99.8%</b>	<b>1,095</b>
寒河江市	20	149	105.3%	89.2%	132
河北町	28	72	215.4%	116.1%	55
西川町	0	3	0.0%	42.9%	3
朝日町	0	7	-	100.0%	6
大江町	2	18	100.0%	120.0%	17
西村山郡	<b>50</b>	<b>249</b>	<b>142.9%</b>	<b>96.5%</b>	<b>213</b>
村山市	2	48	13.3%	61.5%	46
東根市	72	330	218.2%	116.6%	289
尾花沢市	2	35	66.7%	194.4%	31
大石田町	1	6	-	18.2%	6
北村山	<b>77</b>	<b>419</b>	<b>151.0%</b>	<b>101.7%</b>	<b>372</b>
<b>村山地域</b>	<b>296</b>	<b>1,986</b>	<b>122.3%</b>	<b>99.8%</b>	<b>1,680</b>
新庄市	10	106	71.4%	141.3%	104
金山町	0	0	-	0.0%	0
最上町	17	32	-	1066.7%	32
舟形町	0	3	0.0%	50.0%	3
真室川町	1	16	50.0%	200.0%	16

市町村	着工	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	2	0.0%	40.0%	2
鮭川村	0	2	0.0%	40.0%	2
戸沢村	1	2	-	66.7%	2
<b>最上地域</b>	<b>29</b>	<b>163</b>	<b>145.0%</b>	<b>148.2%</b>	<b>161</b>
米沢市	40	266	38.5%	60.7%	260
南陽市	13	115	108.3%	108.5%	104
高島町	6	78	40.0%	136.8%	76
川西町	6	36	300.0%	211.8%	35
東南置賜	<b>65</b>	<b>495</b>	<b>48.9%</b>	<b>80.1%</b>	<b>475</b>
長井市	8	64	66.7%	71.9%	63
小国町	1	7	33.3%	77.8%	6
白鷹町	5	28	83.3%	87.5%	28
飯豊町	1	10	50.0%	111.1%	9
西置賜	<b>15</b>	<b>109</b>	<b>65.2%</b>	<b>78.4%</b>	<b>106</b>
<b>置賜地域</b>	<b>80</b>	<b>604</b>	<b>51.3%</b>	<b>79.8%</b>	<b>581</b>
鶴岡市	29	345	85.3%	121.5%	294
三川町	1	23	100.0%	209.1%	20
庄内町	5	51	23.8%	100.0%	50
田川	<b>35</b>	<b>419</b>	<b>62.5%</b>	<b>121.1%</b>	<b>364</b>
酒田市	50	360	208.3%	132.8%	302
遊佐町	1	11	50.0%	61.1%	10
飽海	<b>51</b>	<b>371</b>	<b>196.2%</b>	<b>128.4%</b>	<b>312</b>
<b>庄内地域</b>	<b>86</b>	<b>790</b>	<b>104.9%</b>	<b>124.4%</b>	<b>676</b>

注:累計は平成 28 年 1 月~